## 事業報告:2007 女性に対する暴力をなくす運動

昨年11月16日(金)~22日(木)の7日間、 女性センター本館を会場に開催。ご来場いただい た281名のみなさま、ありがとうございました。 ひとりでも多くの方に女性に対する暴力につ いて知り、気づき、考えていただけるよう、今年 度も引き続き開催いたします。



手作り看板 (おでって広場)

### 聞会セレモニー A



カットならぬ パッチン方式。願い をつなげました!

Refore



セクハラ訴訟を扱った 「スタンドアップ」。 感想 を分かち合いました。

After

### Tシャツ展示



暴力への思い、それぞれの言葉にのせて。

### パープルリボンプロジェクト



暴力根絶を願った新企画。多くの方に 賛同をいただき、たくさんのリボンと メッセージが集まりました。ありがと うございました。(担当H)

### 

オリジナル絵葉書(3種類) と啓発ポケットティッシュ。 願いを込めて作りました! (担当R)



### <参加者アンケートより>\*\*\*\*\*\*\*

- ・今は男性も女性も平等に働ける環境が当たり前ですが、その背景には多く の女性の犠牲や立ち上がる勇気があってこそだと感じました。(30代女性)
- ・Tシャツや映画等、非常にインパクトがあり、感動しました。(50代女性)
- ・映画をパートナーにみせて感想を聞いてみたいと思いました。(20代女性)
- ・映画について胸のうちを話すことができて良かったです。(30代女性) ・聴覚、視覚を含めた企画物は理解がしやすくて良かった。(60代女性)
- ・家族、職場、社会の課題をいろいろと考えさせられました。(50代男性) ・女性の問題をDVのみならず広く深く取り扱ってほしい。(60代女性)
- ・展示の工夫もされており、見やすくとても理解しやすかった。(不明男性)

# **女性相談(本館)**



女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、 専門の相談員が一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれ ず、ひとりひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、 相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- ◆ 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- ◆ 相談は無料です。秘密はかたく守ります。

月・火・金曜日...10:00~17:00 水曜日・木曜日...10:00~20:00 相談受付電話...019-604-3304 (第2火曜日と祝日を除く)



### もりおか女性センター本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階

電話番号 (019)604-3303

開館時間 月曜日~金曜日 9:00~21:30(土日祝17:00まで)

休 館 日 毎月第2火曜日、年末年始

### もりおか女性センター別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町2-8(旧盛岡市働く婦人の家)

電話番号 (019)624-3583

開館時間 月曜日~金曜日 9:00~21:00 休 館 日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

ホームページ http://mjc.sankaku-npo.jp

管 理・運 営 もりおか女性センター指定管理者:

特定非営利活動法人参画プランニング・いわて

### 交通案内



茶畑・バスセンター方面

本館…バスセンター前下車、徒歩3分 別館…バスセンター前下車、徒歩3分

女性センターには専用の駐車場はありません。 おでって地下駐車場や近隣の駐車場をご利用ください。

- \*新年あけましておめでとうございます。みなさまはどのようなお正月を 迎えられましたか?身のまわりの小さな幸せを大事にし、楽しい一年 を過ごしたいとおもっています.(0)
- \*寒い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしですか?昨年は様々 な事件がありましたが、とくにも薬害肝炎問題に驚愕しました。岩手で 出産した女性などの被害実態、今後の行方が気になります。(M)

次回は3月上旬発行です。どうぞお楽しみに!

2008年1月発行

-女と男が参画する社会をめざして-

ニュースレター No.10

- \* 新春スペシャル対談!
- \* 事業案内 シリーズ災害と女性 1
- \* 事業報告(女性に対する暴力をなくす運動)
- \* 講座ガイド(1・2月開講) いのちを見つめる講座 女性のためのメディア・リテラシー講座 私らしく元気アップ講座



発行/もりおか女性センター

# 新春スペシャル対談



新年あけましておめでとうございます。 新春のごあいさつをかねて、今年の抱負など お二人の新春対談をお届けいたします。

# 大切なのは「自己 PR」! 自分を知り、情報発信しよう

平賀: このように対談をするのは初め てですね(笑)。よろしくお願い します。田口さんは市役所にお 勤めになって何年でいらっしゃ いますか?

**田口:** 32年になります。うち22年間は 商工観光の分野にいました。

平賀: そうですか。昨年から男女参画 国際課にいらしたわけですが、 初めての分野ですね。

田口: 私もそうかと思っていたのです が、市民と一緒に取り組む立場 は同じですから、私は取りかがりやすかったと思っています。

平賀: 私は 45 年間首都圏にいて、お ととし故郷の盛岡に戻ってきた のですが、岩手にはいいもの が沢山あると再発見していま す。首都圏にいたときは農産 物にせよ岩手は他県に比べて 影が薄く、PRが下手だと感じて いました。男女共同参画の視 点から考えると、女性がもうちょ っと前に出ると変わっていくの ではないかと思っています。

田口: いいものがありながら、多くの人 平賀:ところで、男女参画国際課は が情報を発信していないという ことがあります。自分の特徴を 知ること、それをメディアで発し ていくこと。国際交流でも男女



共同参画でも同じ課題がある のではないかと思います。

平賀: そうですね。

田口: メディアというと、昨年も女性セ ンターの事業はけっこう取り上 げられていました。素晴らしい と思います。役所も参考にして 取り組みたく思っています。

こちらの人は男性も女性もシャ イですね。慎み深いと言うか。 ほめられると"いや~そんなこ とはない"、"わがね"なんて。 特に女性です。生き方もそうで はないでしょうか。自己肯定で きる人が増えて欲しいと思って います。

### グローバルな視点で 男女共同参画社会を!!

「男女共同参画」と「国際交 流」が一緒なわけですが、市 民がグローバルな視野をもつ ことについて、いかがですか?





田口: 昨年、盛岡の姉妹都市ビクトリ アを訪問しました。同行した中 学生が異国体験でショックを 受けてきました。違う場に身を 置くと、自分がみえるんです ね。男女共同参画も国によっ て「常識」に違いがあり、広い 視野でみつめ直す必要がある と参考になりました。

平賀: 姉妹都市と男女共同参画に関 して交流をしている地域って あるのでしょうか。

田口: 札幌市が姉妹都市のポートラ ンドと男女共同参画のフォー ラムをしています。盛岡もビク トリアの市民と一緒にやってみ ましょうか?

**平賀:** いいですね。カナダは DV 施 策でも先駆的ですし、ビクトリ アの方と何かできたら面白い ですね。

**田口**: 盛岡は平成 22 年にビクトリア を迎えます。広い視野で男女 共同参画の協働事業も考えた いと思います。

平賀: 広い視野というと話が飛びます 金星を送ったんです。黄色い 林檎に驚かれました。蜜をみ て腐っていると思う人もいま す。知らないからですね。





(盛岡市市民部男女参画国際課課長)(NPO法人参画プランニング・いわて理事長 もりおか女性センターセンター長)

> 田口: 私には自作の「盛岡りんごはな ぜうまい」という歌があるんです が(笑)、寒暖の激しさが蜜を作 るそうです。

> 平賀: 盛岡の人たちも林檎のようにお いしい蜜を中にたくさん、持っ ていますよね。

田口: うわぁ、そうですね。市民は当た り前と思っているかもしれませ んが、女性センターの事業も蜜 に近いように思っています。

平賀: ありがとうございます。 職員一人 ひとりが蜜を持っていると思っ ています。(笑)

田口: これからもお互い、緊張と協調 を持ち合いながら、よろしくお 願いします。

平賀: 市とは毎月打ち合わせをしなが ら仕事をさせていいただいてい ます。丸投げが多い中、珍しい ケースです。

市との姉妹都市提携 25 周年 田口: 役所には役所の NPO には NPO だからできることがあります。お 互いの特徴を生かした協調関 係で、より良い社会をつくって いけたらと思います。

が、先日遠方の知人に林檎の 平賀: 市民のために協働で切磋琢磨 の仕事ができたら最高です。ど うぞこれからもよろしくお願い致

(終)

# シリーズ 災害と女性 1

# 一人ひとりの安全が守られるまちづくりのために

2008年2月24日(日)12:50~16:40(開場12時)

阪神 淡路大震災を体験し 支援に携わった講師の話、新潟中越地震で現場へ急 行し、支援活動に取り組ん だ学生たちの報告など、報 道されてこなかった被災 地からの声に耳をかたむ け、これから私たちにでき る地域防災について考え

ます。

主催:もりおか女性センター

共催:男女共同参画センター、盛岡地方法務局、岩手県人権擁護委員連合会

会場:盛岡市中央公民館 参加:無料

定員:300名

託児:(生後6ヶ月~未就学児、要電話予約、1人500円 〆切2/15)

手話通訳(要電話予約 〆切2/15)

申込方法:電話又は FAX ( チラシの専用申込みフォーム )

もりおか女性センター本館 TEL (019) 604-3303 FAX (050) 2013-4750 第1部 講演

災害と女性 正井礼子さん

(NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ代表)

第2部 報告

学生が取り組む被災地支援活動、 そして地域防災

岩手県立大学地域貢献サークル 「風土熱人R」

第3部

県内の防災への取り組み 岩手県総務部総合防災室職員 盛岡市総務部消防防災課職員

第4部 パネルディスカッション コーディネーター山本克彦さん (岩手県立大学福祉学部准教授)

# 講座ガイド

### いのちを見つめる講座 ー女性の高齢期を考えるー

高齢期を迎えたときに女性がかかえる問題 について学び、語り合います。

程:1/31、2/7、2/14

間:10時30分~12時00分

師:吉田千鶴子さん(岩手県立大学看護学部准教授)

長澤雅美さん(岩手県立磐井病院緩和ケア病棟ボ

ランティア・コーディネーター)

場:プラザおでって3階(大会議室)

対象・定員: 概ね50歳以上の女性 40名

受 講 料:無料

申込方法:1月21日(月)9時から電話にて先着順。

(019)604.3303(本館)

### 全 3 回 メディアふしぎ発見!

## ー女性のためのメディア・リテラシー講座ー

あふれる情報の中で作られる常識やイメージは私 たちにどのような影響を及ぼしているでしょうか? メディアとカシコク付き合うための学習講座です。

程:2/2(土)、2/10(日)、2/16(土)

間:13時30分~15時30分

師:大森健一さん(二戸教育事務所社会教育主事) 谷岡理香さん(東海大学准教授)、センター職員

場: プラザおでって 3階(特別会議室・大会議室)

対象·定員:女性 20名 受講料:無料

申込方法:1月18日(金)10時から電話にて先着順。

(019)624·3583(別館)

## 私らしく元気アップ講座 全4回 毎週火曜日 ー春に向って深呼吸、さあ一歩前進!-

何かを始めたいあなたのために色彩やウォーキングを とり入れた応援講座です。あなたも自信をもって一歩 を踏み出してみませんか?

程:2/5・2/12・2/19・2/26

間:10時00分~12時00分

師:センター職員、川村久子さん(色彩心理士)、 中田幸恵さん(フィットネス・インストラクター)

場:もりおか女性センター別館(第2講習室・軽運動室) 対象・定員:50歳以上の女性 20名 申込方法:1月22日(火)10時から電話にて先着順。

(019)624·3583(別館)

講座案内は「広報もりおか」でお知らせしています。 最新&詳細情報は、もりおか女性センターホームページをご覧ください。